

アリアンヌ・ジャコブ氏による海外教員招聘マスタークラス
2019 年10 月28 日（月）L506教室

アリアンヌ・ジャコブ氏は、リヨン国立高等音楽院のエリック・
ハイドシェックの元で鍛錬を積み、1999年のマリア・カナルス・
バルセロナ国際ピアノコンクールにて入賞。

現在パリ地方音楽院やブローニュ地方音楽院でピアノ科及びピ
アノ伴奏法科で後進の指導にあたっています。

一昨年に続き2度目の来校で、学部生5名、院生2名の7名が受
講しました。

一人40分という短いレッスン時間でしたが、全曲を弾かせた後、
要点を押さえた丁寧なレッスンでどの学生の演奏も大きく変わ
りました。受講曲は、

ショパン:幻想ポロネーズ、バラード1番・3番、舟歌

ラヴェル:洋上の小舟

バッハ:平均律第1巻18番

リスト:グノーの歌劇「ファウスト」のワルツ



洗足音大校門前のアリアンヌ・ジャコブ氏

ショパンに多く出てくるメッサ・ボーチェやソット・ボーチェの音色の変化、ルバートをかけ過ぎ
ない点は誰もが注意をされていた点です。

バッハの全ての曲に共通する旋律の歌い方や声部の弾き分け方の、具体的な音の出し方の講義が、
聴講の学生にとっても役に立ったと思います。

（ピアノ講師 末高明美）



L506 教室のレッスン風景